令和７年度　授業計画

ビジネス情報科・ビジネス科　３年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教　科　名	芸　術	科　目　名	音楽Ⅰ（２単位）	選択相手科目	書道Ⅰ・美術Ⅰ
使用教科書	ON！１（音楽之友社）	副教材等	高校生のための音楽研究ノート(教育芸術社)		

１　科目のねらい（目標）

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

２　科目・授業の内容と進め方

歌唱・楽典・鑑賞・創作の四本柱を中心に行います。

１．歌唱においては、自ら声が出せるよう発声をし、自ら歌おうという意欲を養うため、ＣＤやピアノを聴いて曲の雰囲気をつかみ、次に正しい音程で歌えるように音取りやリズム練習をします。それができるようになったら、歌詞や曲想を把握し、自ら表現できるよう進めていきます。

２．楽典においては、音楽の基礎である譜読みができること、その他基本的なことを練習します。

３．鑑賞においては、音楽史の流れを把握し、その時代の特徴、楽器、奏法、作曲家の人間像など鑑賞を通じて考えます。

４．音階を用いて曲作りに挑戦します。

３　学習の方法

・楽譜を読めるようにするため、また正しい音程で歌えるようにするため、教科書の楽譜の下に階名をつけ、階名で歌う練習をします。

・リズム練習は手を使って体で覚えられるよう何回も練習します。

・音符や記号を正確に書くため、五線ノートを使って練習します。

・鑑賞曲においては、自分の感想をしっかり書いて下さい。

・声がスムーズに出るように日頃から姿勢を正しくするよう心がけましょう。

４　課題・補習について

・歌のテストや課題（前期）があります。

・ノート提出については随時あります。

・ペーパーテスト（後期）にあります。

５　観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

ビジネス情報科・ビジネス科　３年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ（２単位）	選択相手科目	書道Ⅰ・美術Ⅰ

６　年間の学習計画

月	単元名	学習する内容	評価方法（課題等）
4	歌唱「翼を下さい」「春へのあこがれ」 楽典「譜読み」「記号の書き方」	・正しい音程、リズムで歌えるよう階名で歌う。 ・強弱の工夫と歌詞の意味を理解する。 ・曲想の把握と表現の工夫を行う。	・提出物 （知・技、思・判・表） ・授業態度（主体的）
5	歌唱「花は咲く」（合唱）「少年時代」 楽典「譜読み」「リズム練習」 鑑賞音楽史「バロック時代」 JS,バッハ	・楽典においては音楽の基本的な事を学ぶ。 ・音楽史の流れについて学び、特徴、楽器、作曲者の人物像について考える。	
6	歌唱「花の街」「椰子の実」「この道」 楽典「譜読み」「リズム練習」 鑑賞音楽史「古典派」 ハイドン、モーツァルト	・日本楽曲の良さを感じながら歌う。 ・音程、リズム、フレーズなどに気を付ける。 ・五線の中に調号が正確に書けるように練習する。	・実技(歌)テストで評価 （知・技、思・判・表、主体的）
7 8	歌唱「O sole mio」「アニー・ローリー」「おおシャンゼリゼ」 楽典「譜読み」「調判定」 鑑賞音楽史「古典派」 ベートーヴェン	・外国のポピュラー音楽の成り立ちについて考える。 ・発音に注意し楽しく歌う。 ・長調と短調の区別について学ぶ。 ・平易な曲の調判定について学ぶ。	・楽典小テスト （知・技、思・判・表）
9	歌唱と手話「ビリーブ」「ふるさと」 楽典「譜読み」「調判定」 鑑賞ミュージカル「天使にラブソングを」	・手話を使って表現し歌う。 ・ミュージカルの歴史について学ぶ。 ・ミュージカルの音楽の重要性について考えてみる。	・実技、課題で評価 （知・技、思・判・表、主体的）
10	歌唱「夏の思い出」「紅葉」「里の秋」 器楽「ギター実習」または「鍵盤」 音階、曲(課題)	・日本歌曲の良さを味わう。（歌詞の意味） ・音程、フレーズ、リズムなどに気を付けて歌う。 ・ギター扱いや鍵盤楽器を弾くときのルールなどに気を付けて楽器に挑戦する。	・実技(ギター又はテスト鍵盤) （知・技、思・判・表） ・授業態度（主体的）
11	創作「曲作り」 器楽「ギター実習」又は「鍵盤」 曲(課題)	・音階を用いて簡単な旋律作りに挑戦する。 ・曲のイメージを考えて楽譜に書いていく。 ・実技(ギター、鍵盤楽器)課題に向けて練習を行う。	・ギター鍵盤実習および創作発表で評価(知・技、思・判・表、主体的)
12	歌唱「喜びの歌」「冬景色」 楽典「復習」 鑑賞「ロマン派」「近代」 ショパン、シベリウス	・音程、リズム、フレーズに注意しながら季節感を意識し、歌う。 ・音楽史の流れでロマン、近代で活躍した作曲家又は曲の特徴について考える。	・提出物 （知・技、思・判・表） ・授業態度（主体的）
1	歌唱「早春賦」 「旅たちの日に」（合唱） 鑑賞「日本音楽」「世界の民族音楽」「ビートルズ」	・皆で良い「作品」を作ることを意識し仕上げる。 ・我国の伝統音楽や世界の民族音楽について学ぶ。	
2	歌唱「復習」楽典「復習」	・独特な旋律、リズム、楽器などがどのようにしてできてきたのかなど勉強し、音楽の世界を広げる。	学年末考査 ・考査により評価 （知・技、思・判・表）